

令和3年度 帯広市地区の研究活動

研修部長 帯広市立大空小学校

校長 川上 裕明

1 はじめに

帯広市校長会は、小学校26校中学校14校の校長で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としての調和を大切にしつつ、小学校長会と中学校長会に分かれて具体的な活動に取り組んでいる。

調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設けて、実践的な研修に励んでいる。また道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子どもたちの健やかな成長に責任をもつ職能団体としてその機能を果たしている。



学校経営研究協議会（11月18日開催）のようす

2 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～ふるさとに誇りと愛着をもち ともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ① これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ② 各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③ 全連小研・道小研との関連を重視し、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求しその内容を交流・発信する。4つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において研修を深める。また、小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。

3 研究の概要

(1) 職能向上に関する研修の実施

① 目的

教育の動向を捉え、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探究し、その内容を広く交流・発信していく。

② 概要

○会員全員が4つの委員会（「学校経営委員会」「教育課程委員会」「危機管理委員会」「教育課題委員会」）のどれかに所属する。

○それぞれの委員会ごとに、レポート交流や協議会を実施する。

(2) 「学校経営基礎研修」の開催

① 目的

採用2年目までの校長を対象に、学校経営について学び交流し、職能向上を図る。

② 概要

○年間2回実施（7月26日、12月27日）

○講話（先輩校長から「課題解決の方策」「校長に必要な資質・能力」等講話を聞く）

○交流（テーマに沿って、日頃から考えていること等を交流する）

(3) 「学校経営研究協議会」の開催

① 目的

校長としての職能向上や学校経営の改善、充実に資するため、今日的教育課題や学校経営の在り方について研修を深める。

② 概要

○11月18日（木） 帯広市内の全小・中学校の校長が参加して開催

○協議

・小学校教育課程委員会

「人権感覚を高めふるさとの風土に学び人がきらめき人がつながる

帯広らしい人権教育の推進と校長のリーダーシップ」

・中学校生徒指導委員会

「カリキュラム・マネジメントの推進」

○講演

「信頼される学校づくりのために」

講師 北海道教育庁十勝教育局長 村上 由佳 氏

(4) 「スクールリーダー育成セミナー」の開催

① 目的

スクールリーダーの自覚と教師力の向上を図り、次代のリーダー養成のため、今日的教育課題についての実践的研修を進める。

② 概要

○12月27日（月） 十勝管内各校のミドルリーダーを対象に開催

○講話Ⅰ

「（仮）『令和の日本型教育』に関わって」

講師 北海道教育長十勝教育局義務教育指導班主査 山田圭介 氏

○講話Ⅱ

「（仮）小中一貫教育の推進に関わって」

○演習 テーマに沿って、自校での取組や実践等を交流する

(5) 研究紀要「教育新潮」の発行

① 目的 1年間の研究をまとめ、成果と課題を確認するとともに内外に発信する。

② 概要 小・中校長会の合本とし、3月に発行する。

4 おわりに

帯広市小学校長会は、全連小、道小との研究の関連性を重視し共同研究を進めてきた。コロナ禍で研究にも制約が多い中ではあったが、道小石狩・千歳大会へのオンライン参加、2年ぶりに会同行った学校経営研究協議会など、情勢に応じた柔軟な対応で研修に臨んだ。危機的な感染状況が続く中ではあるが、研修に邁進し、校長としての自己研鑽と組織力向上に努めた。